

IASSW に対する私のビジョン声明

国際的なソーシャルワーカー、社会活動家、教育者、研究者として、私は女性やその他の被抑圧集団が周縁化される原因となっている深く根付いた社会文化的・政治的問題に向き合い、変革を目指す取り組みに力を注いでいます。私の活動の中心には、女性に対する暴力の予防における男性の参画、そして少女や女性の教育権の推進があります。グローバル・サウスとグローバル・ノースの双方で教育・研究・社会活動に携わってきた経験を活かし、先住民コミュニティや地域の学生と協働し、世界的な社会正義、暴力防止、人権、ジェンダー平等を推進してきました。私は、戦争や紛争に直面し、人権やジェンダー平等の課題を抱える国々の政府と緊密に連携し、平和構築の戦略の開発および導入に取り組んでいます。

私は、地域社会や現地研究者との尊重に基づく協働を通じて、プログラム設計、知識の共有、学生・研究者の交流、そしてソーシャルワークがまだ新興職種である地域での会議開催を推進し、国際ソーシャルワーク教育の発展に貢献しています。コミュニティ主体の脱植民地アプローチと知識の共同構築を通じて、ソーシャルワーカーが倫理的に実践し、政策に関与し、人権およびジェンダー平等の取り組みに貢献できるよう、能力強化の機会を提供してきました。国際博士課程の学生向けの集中的な質的研究コースを終えた後、現在は「国境なき学者（Academics Without Borders）」と協働し、グローバル・サウスのソーシャルワーク学生のために、脱植民地・先住民研究の方法論のコースの開発と実施を主導しています。カナダでは、カルガリー大学の国際ソーシャルワーク大学院プログラムの再設計を主導しました。このプログラムは、先住民の世界観、反／脱植民地主義、反人種主義、トランスナショナル・フェミニズム、反抑圧理論／実践、そして相互扶助を中心とした倫理的・理論的枠組みに基づいています。このプログラムは、継続的な協働、地域社会の参加、専門的助言を通じて実現しました。カナダ社会福祉教育協会（CASWE）の新理事および国際問題委員会委員長として、私は今後もカナダと世界のソーシャルワーカーの強力な連携と協働を推進していきます。

IASSW が掲げる「より公正で公平な世界を追求するために、世界各地でソーシャルワーク教育、研究、学術の卓越性を促進・発展させる」というビジョンは、私の使命および人生目標と完全に一致しています。

IASSW は、ソーシャルワーク教育と実践の共同構築および脱植民地化において、持続可能な世界的連携を発展させるうえで中心的な役割を担っています。Member-at-Large（理事）として、私はコミュニティ参画、相互交流、そして世界的パートナーシップに基づく IASSW のビジョンとミッションを強化するため、同僚と協働してまいります。そして、ソーシャルワーク教育、研究、実践の卓越性の推進に貢献していきます。